# きっかけ作りや繋がりが出来る場所

「みの～れは、 自分の作品を色々な人たちに見ていただくチャンスのある場所。」と語る片岡さん

みの～れ支援隊　art minole
みの～れ支援隊　公演スタッフ

## 片岡 美穂子 さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life のすすめ
No.44

新しい年を迎え、楽しいお正月を過ごされましたか？厳しい寒さの中で開き始めた梅の花に思わず微笑んでしまいますね。今年はうさぎ年！ぴょんぴょんと跳ねれば跳ねるほど幸せが舞い込んできますように。今回は、みの～れ支援隊「art minole」や「公演スタッフ」等幅広く活躍し、先日、成人式を迎えたばかりの張星地区にお住まいの片岡美穂子さんを取材する。

## みの～れでの交流がアイディアのカギ

片岡さんはデザインを学ぶ専門学生。みの～れでは「art minole」に所属してイベント等のポスターやチラシの作成をしている。みの～れに足を運ぶようになったきっかけは「母親の紹介で高校3年生のときからお世話になっています」と話す。

片岡さんは子どもの頃から絵を描くのが大好きでいつも鉛筆と自由帳が傍にあった。片岡さんは「父親が看板屋なので自然と絵を描くことが身についていった。私が絵を描くのが好きなのは父親ゆずりです」と話す。また、漫画の本はあまり読まなかったが、書いて見てもらうのが好きだった。小学校の頃は4コマ漫画を書くのが好きで、多くの漫画を書いては親戚のお姉さんに見てもらっていた。

「小学校6年のときに1年間絵の教室に通った。本物の絵をそっくりに描くやり方が自分の絵を上達させた」と話す。その頃の片岡さんの作品は作品展等で入選した。中学時代は卓球部に所属し部長を務めた。高校時代は華道部・英語クラブに所属していた。「中学・高校時代は絵を書く機会が少なく、画力が落ちてしまったのでは・・・と思う」と話す。専門学校では広告プロモーション学科で勉強している。「今はパソコンでの授業がほとんどだが、デッサンの授業もあり、周りの方たちが絵の上手い人たちばかりで落ち込むこともある。その中でみんなと違う絵を描いていこうという思いが強くなった」と話す。

片岡さんが「art minole」で手がけた作品は国民文化祭のときの「いばらきビッグバンドジャズフェスティバル」と「第12回みの～れマタニティ・コンサート」チラシで、どちらも素晴らしい仕上がりで好評を博した。

片岡さんにとってみの～れは、「自分の作品を色々な人たちに見ていただくチャンスのある場所。きっかけ作りや繋がりが出来る所。」と話す。また、「将来は広告代理店などに就職して活躍したいと思っています」と話す。

4月に行われる「小美玉さくらフェスティバル」のチラシを片岡さんが担当する。春にはあちこちで目にすると思う。今から楽しみですね。

今年もみの～れでは盛り沢山のイベントが行われます。2月には「art minole」企画展を初開催いたします。どうぞ・・・ぴょんぴょん飛躍の年になりますよう足を運んで下さい。

（藤田佐知子）